

武久顕也市長が再選

瀬戸内市長選挙（5月28日告示）において、無投票で武久顕也市長が再選されました。3期目の任期は、平成29年7月19日から平成33年7月18日までです。



議員一覧（50音順・敬称略、年齢は7月1日現在）



新市議18人が決まりました

瀬戸内市議会議員
（任期：平成29年6月4日～平成33年6月3日）

市議会議員選挙の開票結果（敬称略）

党派名	候補者（通称）名	得票数
公明党	たかま 直美	1,271
無所属	おのだ 光	1,159
日本共産党	島津 ゆきえ	1,113
公明党	河本 ひろし	1,068
無所属	むろさき むつみ	1,064
無所属	岡 くにたろう	997
無所属	石原 よしたか	951
無所属	日下 敏久	915.083
無所属	くさか としこ	889.916
日本共産党	ことう あきお	886
無所属	原野 けんいち	885
無所属	布野 浩子	882
無所属	広田 ひとし	807
無所属	竹原 みき	804
無所属	平原 順二	722
無所属	かどぐち しゅんいち	719
無所属	馬場 まさのり	695
無所属	小谷 和志	668
無所属	森 俊之	614
得票合計		17,109.999

有効投票数	17,109.999
無効投票数	256
あん分切捨て票数	0.001
投票総数	17,366
有権者総数	31,644
投票者総数	17,366
投票率	54.88

得票数の小数点以下の端数について

「氏名」「氏」または「名」が同じ候補者が立候補した選挙では、「氏名」「氏」または「名」のみを記載した投票を有効な投票として取り扱います。その場合、各候補者の有効投票数に応じてあん分する（割り振る）ことになり、得票数に小数点以下の端数が付くことがあります。

行政報告

Administrative Report

市長から

はじめに

3期目の就任を前にして、今後の市政運営につきまして所信を述べたいと思います。

これまで、議会や市民の皆さまのご理解をいただき、長年の懸案事項であった事業に取り組みることができましたが、今後さらなる課題の解決に向けて全力で取り組んでいく所存です。これらの実現のためには、市民の皆さまと対話を重ね、協働で瀬戸内市のまちづくりを進める永続的な発展の仕組み作りが必要であると考えます。

そのためには、次の四つの視点を重視しながら具体的な

取り組みを検討していきたいと考えています。

第一に、人材の育成です。お互いさまの気持ちを大切にする温かい地域づくりのため、コミュニティリーダーシップを発揮できる人材を地域とともに育てるということです。

この人材には、市民の皆さま、企業の皆さま、そして市役所の職員も含まれます。今後、継続的な人材育成のための具体的な仕組みを検討していきます。

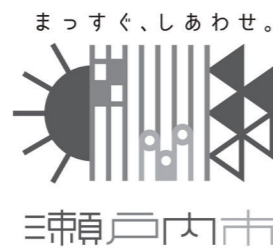
第二に、地域経済とコミュニティの活性化です。地域経済の活性化のためには、新たな工業団地の造成や中小の企業への支援制度の拡充と併せて、地元産業における特産品の開発や販路開拓の支援策をさらに進める必要があります。また、コミュニティの活性化

化については、瀬戸内市に合った地域への一括交付金と

地域自治組織のあり方を確立し、地域の主体的な取り組みが進められることによって、それぞれの地域固有の課題の解決と、市民参加のまちづくりが進められるようにしていきます。

第三に、シビックプライドの醸成です。瀬戸内市では、昨年度から瀬戸内市のブランドを確立するための調査を行い、ブランドブックを作成しました。

まちの未来に向けた姿勢を表現した瀬戸内市ロゴマーク



このブランドブックに示されているように、瀬戸内市の自然や文化資源の豊かさを生かす、利便性をさらに高め、子育て環境や教育環境の整備を進めることにより、瀬戸内市に対する愛着と誇りを高めていく取り組みを続けていきます。

第四に、健全な財政の維持です。少子高齢化による扶助費の増加や、地方交付税の削減により、財政は年々厳しくなっています。

しかし、このような中でも、子育て、教育など市の魅力を高めるための施策は積極的に取り組んでいかなければなりません。

公共施設再編などの行政改革や太陽のまち基金の効果的な活用により、健全な財政の維持を図りながら、市民が幸せを感じるまちを実現するとともに、瀬戸内市の永続的な発展を目指していく所存です。

以上四点について、今後具体的な方策をまとめ、安定的かつ積極的なまちづくりを進めて参りますので、議会や市民の皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。



ブランドブック

空家などの対策

本年2月定例会において「瀬戸内市空家等の適正管理に関する条例」の議決をいただき、現在先進地視察などの研究を行い、当条例の全面施行に向けて、準備を進めているところだ。

この条例では、空家などの適正管理および活用施策を計画的に実施するための「空家対策計画」を策定するとともに、空家の調査を行い、「空家台帳」を整備することとしています。

また、空家対策を進める組織として、関係職員による庁内体制を整備し、建築関係などの外部専門家による「瀬戸内市空家等対策協議会」を設置することとしています。

現在、関係各課の職員による会議を開催し、計画策定などのスケジュールの検討を行っています。先進地では、計画策定、台帳整備に1年以上の期間を要しています。

JR駅前等整備事業の進捗状況

市内JR3駅の駅前整備事業の進捗状況ですが、本年3月にJR駅前等整備計画を取りまとめたところです。

計画では、平成31年度までに整備する公衆トイレ、駅前ロータリー、歩車道分離、駐輪場などの短期計画と、財源を含めて中長期的に課題解決を目指していく中期計画に分けて整備する方針としていますが、このうち、短期計画については、先頃測量業務の発注を終えたところです。

短期計画については、合併特例債の活用を前提としていることから、限られた期間での実現に向け、それぞれの駅ごとに地元調整を重ね、用地交渉やJR西日本との協議を進めています。

このため、今年度末までに詳細設計を完了させ、来年度早々に工事発注ができるよう、事業を進めていきますので、よろしくお願ひします。

でに策定するとしていた計画などについては、規制だけでなく、利活用も含めたより効果的な内容とすること、また市民への周知期間も考慮し、今年度末の策定を目指して、庁内体制の整備、また協議会での検討を進めていきたいと考えています。

地方創生拠点整備事業の進捗状況

「地方創生拠点整備交付金」による旧牛窓診療所を活用した「地方創生・瀬戸内Re・イノベーションハウス整備事業」については、今年度に予算を繰り越し、事業を進めているところだ。

現在、耐震診断業務のうち現地調査までを終えたことから、今後、建物の耐震性能の評価、補強の要否の判断を行うこととしています。

耐震診断業務終了後は、その結果に基づく耐震改修や給排水・電気設備等工事の実設計業務、工事施工までの工程と並行し、施設の活用アイ



活用を検討している旧牛窓診療所

ディア収集や市場性の把握などを行う「サウンドディング調査」を実施する計画です。

この調査により、事業者が参加・提案しやすい条件を検討した上で、年内には施設活用事業者選定のための公募を開始し、平成30年3月までに各種工事などの完成と民間事業者の選定を終える予定とされています。

なお、選定された民間事業者による内装工事などは、平成30年度中に行い、平成31年度からの供用開始を目指すこととしています。

教育長から

教育委員会では、瀬戸内市の教育大綱の五つの重点施策を柱として、教育行政を推進します。

学校教育においては、学びの基本は授業であるとの認識のもと、学ぶことは楽しい、もっと学びたいと思う子どもたちが増えるよう、授業およびそれを支える教育環境の改善を推進します。

特に、学力向上を図るため各学校における授業改善を推進するとともに、教育委員会事務局としても各学校への支援の充実を図っていきます。

また、道徳および小学校での外国語の教科化、各学校教育の円滑な接続、特別支援教育の充実などに取り組んでいます。

また、道徳および小学校での外国語の教科化、各学校教育の円滑な接続、特別支援教育の充実などに取り組んでいます。

また、道徳および小学校での外国語の教科化、各学校教育の円滑な接続、特別支援教育の充実などに取り組んでいます。

障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領などの周知

平成28年4月に「障害者差別解消法」がスタートし、障害のある人もない人もお互いにその人らしさを認め合いながら、共に生きる社会をつくることを目指しており、「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を求められています。

市では、この法律に基づき、市役所の職員が適切に対応するために、不当な差別的取扱いや合理的配慮の具体例を盛り込んだ「障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領及び留意事項」を策定し、本年4月1日から施行しています。

この職員対応要領などを職員に周知するとともに、差別の解消の推進を図るための研修会などを開催し、職員一人一人が法の趣旨、社会的障壁の除去の必要性、障害やその状態に応じた配慮などに関する

理解を深められるよう、意識の啓発に努め、窓口対応などの市民サービスに生かしていきたいと考えています。

ハンセン病療養所の世界遺産登録に向けて

4月10日開催の「第31回ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・岡山」の協議において、NPO法人ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会（仮称）設立準備委員会の設立について承認をいただきました。

今後はNPO本体の設立に向けて協議を進めていく予定です。

市税などのコンビニ納付

市民の利便性向上を図るため、平成30年度当初賦課分から、市税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療費保険料の全国のコンビニで納付が可能となるよう、8月をめどに収納代理業者の選定を行う予定です。



5月21日に中央公民館で開催された創設記念祝祭コンサート

夢二のふるさと

芸術交流プロジェクトの実施

今年度新たに創設した「夢二のふるさと芸術交流プロジェクト」を円滑に運営するため、市民との協働による実行委員会を設置し、事業を開始しました。

プロジェクトは「夢二コンクール」と、コンクール創設の周知および市内の地域文化の向上を目的とした「夢二コンクール創設記念プレミアムコンサート」を主な柱としています。

夢二コンクールは、楽器部門はフルートによる自由曲の演奏、声楽部門は「竹久夢二が作詞した曲の課題曲と自由曲の独唱とし、来年1月に本選を開催します。

多様な読書活動を実施していきます。その活動は校内にとどまらず、保育園や図書館などを会場に、読み聞かせ活動やピブリオバトルなどの事業の実施につながっています。



ピブリオバトル（左上）や保育園で読み聞かせ活動を行う生徒ら（右下）

文化の保存・継承に努めます。特に、地域資源を活用した事業や体験型学習の機会の実施、社会教育施設や関連機関との連携事業、また市民の皆さまとの協働事業などを推進していきます。

子供の読書活動優秀実践校 邑久中学校が文部科学大臣表彰

平成29年度子供の読書活動優秀実践校として、邑久中学校が文部科学大臣表彰を受けました。

同校では、生徒が主体となり、ボランティアと連携し、多様な読書活動を実施していきます。その活動は校内にとどまらず、保育園や図書館などを会場に、読み聞かせ活動やピブリオバトルなどの事業の実施につながっています。

学校施設の整備

邑久中学校大規模改造工事については、昨年度から3年間で実施することとしており、今年度は、北棟の大規模改造工事を実施しています。現在建設中の仮設校舎には8月中旬に移転した上で、9月からは本格的な工事に着手する予定です。

また、牛窓北小学校の校舎等雨漏改修工事、幼稚園のエアコン整備に伴う実施設計など、計画的に実施していきます。さらに、環境省の補助事業である「公共施設等先進的CO₂排出削減対策モデル事業」を活用した、中学校へのエアコン設置も予定しています。